



上段左から
長尾 明美さん
日野 恵美子さん
白石 美和さん
永野 希美さん
下段左から
大政 美智子さん
岡田 ちさとさん



回を重ねるうちに、自然に私も子どもも友だちができて、参加することができました。

町長..皆さんの周辺に一人で子育てについて悩んでいる方はいませんか。

渡部..大勢の人の中に入っていくことに抵抗があつて、出て来れない方もいるようです。

西岡..和氣坂さんは、どのような

気持ちで来られましたか。

和氣坂..広報紙を読んでも、保健婦さんたちに勧められても、なかなか参加できませんでした。私としては、親のところで遊ばせているほうが楽で、わざわざ支援センターに入るのもちよつと面倒に思い、楽な方を選んでいました。たまたま近所に里帰りされているお母さんに誘われましたが、始めのころは、子どもは車に乗せても嫌がつていましたし、駐車場に来てもここで待っていると言うのです。

西岡..高橋さんは、松前町に引越してすぐ保健センターの方から紹介されて来てくれました。引越す度に環境が変わり、たいへんではないですか。

高橋..我が家は転勤族なので、行く先々で自分からとけこむように努力しています。ただ、転勤前の大阪はここまで充実していませんでした。子育て支援センターだけでなく、保健センターでの健康相談や活動もたいへん役立っています。

松前町には東レもあり、転勤族の方も大勢いると思います。やはり、支援センターのようなどころは、転勤族にとつてもありがたいものです。ただ、この輪を広げるとなると、なかなか難しく、残念です。

「もつと出てきたら楽しいよ。」という気持ちはあるのですが、「あまりここが増えても...。」という複雑な気持ちです。

輪を広げよう!

町長..保健センターを利用して、こちらを利用する方が多いようですね。

西岡..はい、保健センターと連携を取り、支援センターのサークルを紹介しています。また、月に1度、エンゼルネットという会合を開催し、地域の状況を把握して活動するようにはしています。

西岡..長尾さんは、支援センターの事業に参加した後、感想を書いたメモを置いて帰ってくれます。とても参考になり、感謝しています。

長尾..子どもが1歳、2歳になってくると、ゆつくり話したいことがあつても、子どものことが気になってなかなかお話をする時間がありません。本当に挨拶程度のもので、メモを書いておくと、気にかけてもらっていると思えます。

町長..それはいいことですね。



▲松前保育所長 茂川一二三(左) 白石町長(右)

西岡..すぐに利用者の反応がわかり次回の開催に向けたいへんためになります。

一方、直接お話をして帰られる方もいらっしゃいます。白石(厚)さんは子どもさんが4か月のころから参加し、成長にあわせてお話をさせていただきましたが、初めはどんなことを思つて来られたのですか。

白石(厚)..サークル活動で東公民館を利用するまでは、何があるのかもわかりませんでした。私もあまり出て行く方ではなかったのですが、自分が引つ込み思案になると子どもも引つ込み思案になると思い、思い切つて来ました。お話するのも苦手なのですが、他のお母さん方のお話を聞いたり、サークルに来て先生に相談にのつ